木場校下のまいぶんマニュアル

ぜひ授業で紹介してほしいポイント！

★☆木場校下ってこんなところ！☆★

地形／木場校下は、日本海側の平地をのぞむ小高い**丘陵**です。ここは古墳時代後期から平安時代にかけて、**製陶**（せいとう）（やきものづくり）や**製鉄**（せいてつ）（鉄づくり）が盛んだった大工業地帯です。

地形の説明

年表に登場する遺跡／南加賀製鉄遺跡群（みなみかがせいてつ）（木場町ほか蓮代寺・粟津・那谷・矢田野校下）

おもな時代は**飛鳥時代～平安時代**。教科書の小単元は**「天皇中心の国づくり」～「貴族のくらし」**。

ポイント①＝弥生時代に大陸から伝わった鉄は全国へと広まり、いよいよ小松でも飛鳥時代頃から本格的な製鉄が始まりました。

ポイント②＝木場校下では、小学校東に広がる丘陵の**木場遺跡群**（平安時代）で、砂鉄から高純度の鉄を取り出す**製鉄炉**（せいてつろ）や燃料用の**炭窯**（すみがま）が見つかっています。

※製鉄については普及冊子「こまつ原始・古代のものづくり」をご覧ください。▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶

WEB 版ものづくり冊子

見つかった製鉄炉

年表未登場の重要な遺跡／木場古墳群（木場町）

おもな時代は**古墳時代**。

ポイント＝小学校舎西側にある**古墳（円墳）**４基です。発掘調査されていないため、くわしい時期や副葬品は分かっていません。木場潟の東側には古墳はほとんどなく、とても貴重な古墳です。

古墳群の近景

遺跡の位置

木場校下の遺跡